

三菱非常用エレベーター



もしものときの、唯一のビル内交通機関として、 高い信頼性を発揮します。

高さが31mをこえる建築物には、非常用エレベーターの設置が義務付けられています。非常用エレベーターには、公共消防隊が素早く消火活動できるよう、エレベーターのかご室の大きさ、速度、運転機能等の仕様および乗降口等の建物まわりまで、細かな基準が定められています。

[三菱非常用エレベーター]は、これら各種の基準はもちろん、通常時において乗用および人荷用として、フルに活用できる高い信頼性と洗練されたデザインで、時代のニーズにお応えしています。

■ 機種

形式	容量		速度 (m/min)	操作方式	制御方式
	定員(人)	積載量(kg)			
E-17-CO/2S-60	17	1150	60	2BC 非常運転時： 日本エレベーター協会 標準 (JEAS-D401) 方式	VVVFインバータ制御
E-17-CO/2S-90			90		
E-17-CO/2S-105			105		
E-17-CO/2S-120			120		
E-17-CO/2S-150			150		
E-17-CO/2S-180			180		
E-26-CO/2S-60	26	1700	60		
E-26-CO/2S-90			90		
E-26-CO/2S-105			105		
E-26-CO/2S-120			120		
E-26-CO/2S-150			150		
E-26-CO/2S-180			180		

平常時、他のエレベーターと群乗合運転を行う場合は前広にご相談ください。

注) 機種・仕様異なる場合は当社にご相談ください。



三菱非常用エレベーター [乗場]



乗場インジケーター



PIH-D417

非常用エレベーター標識



乗場ボタン



HBV1-C710

乗降ロビーの呼び戻しボタン



避難階または避難階の直上(または直下)に設置してください。

仕様

- 乗場 (出入口幅1000×高さ2100)
(出入口幅1100×高さ2100)

乗場の戸: 鋼板塗装仕上げ

三方枠: 鋼板塗装仕上げ(末広形)

敷居: アルミ

ボタン分離形インジケーター:
フェイスプレート…ステンレスヘアライン
デジタル表示

乗場ボタン: フェイスプレート…ステンレスヘアライン
ステンレスクリックボタン

非常運転灯: インジケーター内取付け

標識: ステンレスヘアライン
文字エッチング

有償付加仕様 [乗場インジケーター]



PIH-D447F



PIH-D437F

避難階または避難階の直上(または直下)に設置してください。



三菱非常用エレベーター [かご室]



かご操作盤




仕様

- かご室 (内法: 間口1800×奥行1500)
(内法: 間口1800×奥行2000)
- 天井: 鋼板塗装仕上げ
- 照明: フラット照明 (白色LED)
- 壁: 鋼板塗装仕上げ
- 袖壁: ステンレスヘアライン
- 上板: 鋼板塗装仕上げ
- 戸: 鋼板塗装仕上げ
- 床敷物: ゴムタイル貼
- 巾木: ステンレスヘアライン仕上げ
- かご操作盤: フェースプレート・・・ステンレスヘアライン
セグメントLEDインジケーター
ステンレスクリックボタン
- 連絡装置: 同時通話式インターホン

非常時のエレベーター運転

非常時エレベーターは、乗降ロビーの呼び戻しボタンまたは中央管理室の呼び戻しスイッチが操作されると非常時の運転状態になります。非常時のエレベーター運転は、かご内に消防士が乗り、特定のキーを使って行います。

 ビルの管理者は非常時の使用方法、救助作業について日頃から習熟してください。
ご注意

外部状況	エレベーターの操作	エレベーターの動き
<p>▶ 非常事態発生 (管理者等が状況把握)</p>	<p>乗降ロビーの呼び戻しボタンを押す。 または中央管理室の呼び戻しスイッチを操作。</p>	<p>かごは直ちに避難階に戻ります。避難階に戻ると戸を開いて待機します。乗場ボタンは切り放されます。非常運転灯が点灯します。</p>
<p>▶ 消防隊到着</p>	<p>かご内に乗込み、かご操作盤の1次消防スイッチを操作。</p>	<p>1次消防運転に切り換ります。 (行先ボタンで運転できるようになる)</p>
1次消防運転		
	<p>目的階の行先ボタンを押し続ける。</p>	<p>戸が閉まります。 かごは出発し、目的階に到着します。</p>
	<p>目的階に到着後戸開ボタンを押す。</p>	<p>戸を開きます。</p>
<p>▶ 行先ボタンを押して戸が閉じても出発しない等の状態が発生した場合。</p>	<p>かご操作盤の2次消防スイッチを操作。</p>	<p>2次消防運転に切り換ります。 (戸が閉まらなくても運転できる状態になります)</p>
2次消防運転		
	<p>2次消防スイッチをONしつづけ、同時に行先ボタンを約3秒間押し続ける。 (かごが出發したら手をはなして良い)</p>	<p>ブザーが鳴り戸閉動作を行います。約3秒間経過するとブザーが鳴りやみ戸が開まらなくても、かごは出發する。</p>
<p>▶ 復旧</p>	<p>電気配線の絶縁抵抗等異常のないことを確認した後に操作スイッチをすべて元に戻す。</p>	<p>平常運転に戻る。</p>

非常用エレベーターの計画

非常用エレベーターは火災時の諸活動を支える唯一の交通機関です。設置に当たっては法的条件を満足することが必要です。

注意 非常用エレベーターを設置義務のない建物に設置される場合にも、エレベーターの機能だけでなく、建築的・設備的に法的条件を全て満たすよう計画してください。
非常用エレベーターの関連法規 建築基準法 第34条2項 建築基準法施行令 第129条の13の2、3

特に次の点に気を付けて確実に法的な環境整備を行ってください。

1. 非常用エレベーターの設置を要する建物並びに所要台数

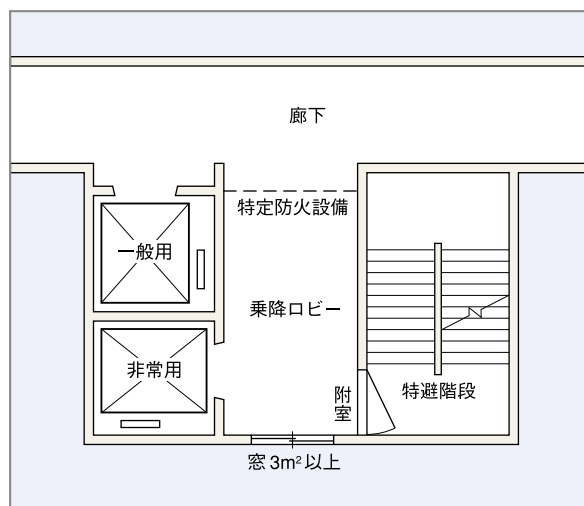
- 高さ31mをこえる建築物すべて
但し31mをこえる部分が次の場合は設置不要。(正確には令第129条の13の2を参照してください)
 - ① 機械室・階段室など人がいない用途の場合。
 - ② 床面積の合計が500m²以下の場合。
 - ③ 階数が4以下で床面積の合計100m²以内ごとに防火区画されている場合。
 - ④ 機械製作工場などの火災発生のおそれが少ない場合。
- 設置台数は高さ31mをこえる部分の床面積が最大の階の床面積が1500m²以下の場合1台、1500m²をこえる場合は3000m²以内を増すごとに1台ずつ増加する。

2. 非常用エレベーターの設置場所

- 非常用エレベーターは、屋外への出口までの歩行距離が30m以下の所に設置する。
- 2台以上設ける場合は避難上および消火上有効な間隔を保って配置する。

3. 非常用エレベーターと他の部分との区画

- 非常用エレベーターの昇降路は2基以内毎に耐火構造の床および壁で囲うこと。
- 1図の場合は、エレベーター機械室においても一般用と非常用の間を耐火構造の壁で区切る必要がある。
- 非常用エレベーターの乗降ロビーは、1図のように他の部分から独立していることが望ましい。



1図

4. 非常用エレベーターの乗降ロビー

この乗降ロビーは、消防隊が消火・救出活動を行う際の基地であり、また初期避難者の滞留場所として防火、防煙、停電対策が完備したものでなければならない。非常用エレベーターは、この安全性が確保されてはじめて火災時にも利用できる点に留意する必要がある。

- 乗降ロビー、各階において屋内と連絡していること。(正確には、令129条の13の3第3項を参照ください。)
- 床面積は、1台当たり10㎡以上必要であり、形状は一边の最小長さを2.5mとして正方形に近いものが望ましい。
- 乗降ロビーは、耐火構造の床および壁で囲み、天井・壁の下地・仕上げも不燃材料とする。
- 乗降ロビーには、バルコニー、外気に向かって開くことができる窓、排煙設備(昭和45年建設省告示第1833号・平成12年建設省告示第1466で改定)を設け、出入口には特定防火設備を設けること。
- 乗降ロビーには、予備電源をもった照明設備を設ける。また屋内消火栓、連結送水管の放水口、非常用コンセント設備等の消火設備を設けるようにする。
- 乗降ロビーには、非常用エレベーターの用途、積載量、最大定員の表示、避難経路、注意事項の標識を取付け、非常運転灯を設ける。
- 避難階(直上直下階を含む)の乗降ロビーにはかごを呼び戻す装置を設ける。(これには前頁に掲げたものが(一社)日本エレベーター協会の標準になっている)
- 非常用エレベーターの出入口部分には、消火水の浸入に備えて水勾配をとるのが望ましい。また非常用エレベーターのピットには排水設備を設けるのが望ましい。(ピット排水口(別途工事)については所轄の消防庁及び確認審査機関との事前協議が必要です。)
- 附室に加圧防排煙設備を適用する場合は、当社にお問合せください。

5. 電源設備・電話装置

- 非常用エレベーターには予備電源が必要である。
予備電源は商用電源の停電と同時に自動的に切り替るものとする。
- 電源線は火災に対して安全なように施工すること(火災時に生ずる煙を有効に排出するために必要な排煙設備の構造基準の電気配線に準ずる)
[配線の方法]
 - 耐火構造の主要構造部に埋設する配線
 - 不燃材料の下地・仕上げの天井の裏面に鋼製電線管を用いて行う配線
 - 耐火構造の床・壁、又は防火設備で区画されたダクトスペース等を行う配線
 - バスダクト、MIケーブルを用いて行う配線電線は600V耐熱ビニール電線等を用いる。
- かご内と中央管理室間の電話装置は同時通話式インターホンが良く、その配線は耐火配線工事とする。また、中央管理室に設ける呼び戻し装置の配線も同様である。但し位置表示器類は耐熱配線工事以上とする。

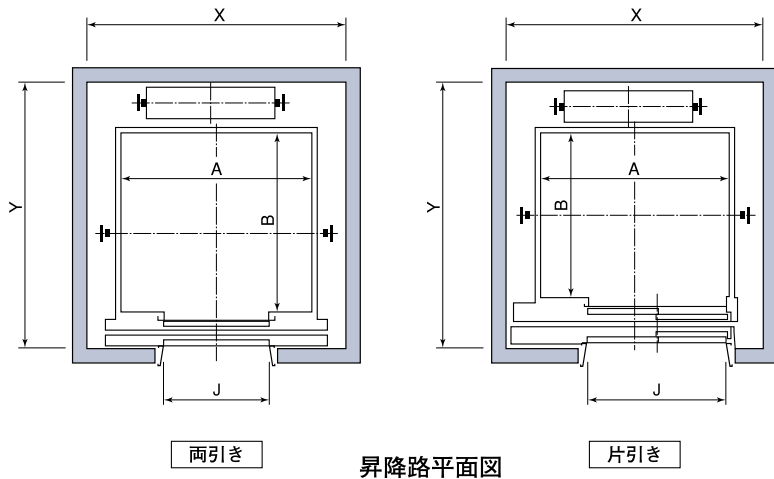
6. 非常用エレベーターの運転管理

- 非常用エレベーターが常に正規の機能がはたせるよう日常の細心の管理が必要である。但し2次消防運転はドアの閉鎖状態が確認できないから、これの試験はエレベーター専門技術者にまかせること。
- 1次2次消防運転用のキーは保管場所を常に明確にしておくこと。
- 非常用エレベーターを非常の用に供している場合は、他の一般エレベーターは避難階に待機させること。

据付図

速度: 60~105m/min

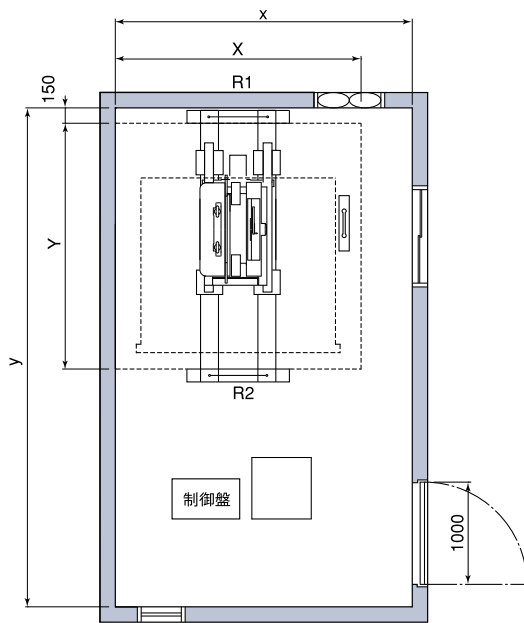
●下記のご寸法、昇降路寸法は、建築基準法による最小寸法を示します。



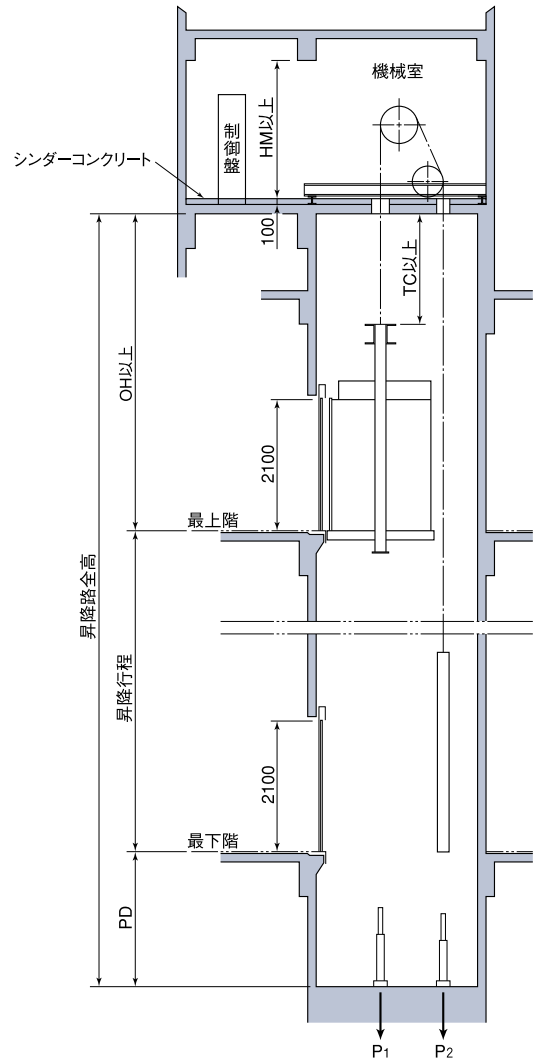
両引き

昇降路平面図

片引き



機械室平面図



昇降路断面図

かご・昇降路・機械室寸法

形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ドア方式	出入口幅 J (mm)	かご寸法 (mm)		昇降路内法 (mm)		機械室内法 (mm)	
						間口 A	奥行 B	間口 X	奥行 Y	間口 x	奥行 y
E-17-CO	17	1150	60/90/105	CO	1000	1800	1500	2400	2400	2900	4550
E-17-2S				2S				2400	2450	2900	4600
E-26-CO	26	1700	60/90/105	CO	1100	1800	2000	2400	2800	2900	4950
E-26-2S				2S				2400	2900	2900	5050

ピット深さ・オーバーヘッド寸法

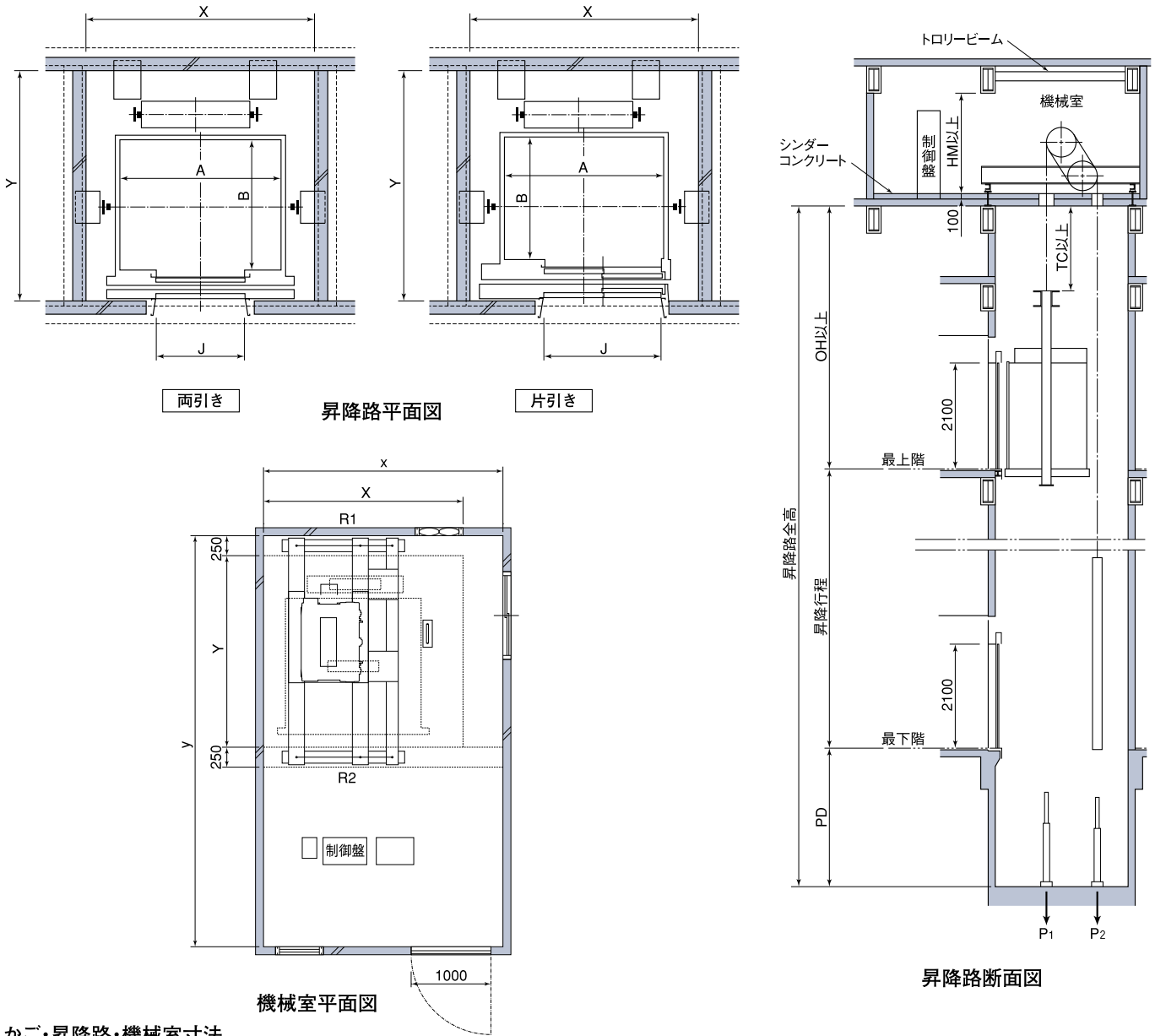
形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ピット深さ PD (mm)	オーバーヘッド OH (mm) ^(注2)	頂部すき間 TC (mm)	機械室有効高さ HM (mm) ^(注3)	機械室床に掛かる荷重 (kN)		ピット衝撃荷重 (kN)		最大昇降行程 (m)
								R1	R2	P1	P2	
E-17-CO/2S	17	1150	60	1550	4750	1450	2250	86	67	114	93	60
			90	1850	4950	1650	2250	88	70	115	94	80
			105	2150	5150	1850	2250	88	70	115	94	80
E-26-CO/2S	26	1700	60	1550	4750	1450	2350	123	83	165	133	60
			90	1850	4950	1650	2350	136	91	170	139	80
			105	2150	5150	1850	2350	136	91	170	139	80

注: 1. 昇降路、機械室平面図の据付寸法は剛構造(RC・SRC造)の場合を示します。

2. オーバーヘッド寸法は出入口高さ、かご室意匠が標準仕様の場合です。(出入口高さ2100mm、かご天井高さ2300mm)

3. 機械室有効高さはかごサイズ、かご室意匠、昇降路内レイアウトが標準仕様の場合です。

速度：120～180m/min



かご・昇降路・機械室寸法

形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ドア方式	出入口幅 J (mm)	かご寸法 (mm)		昇降路内法 (mm)		機械室内法 (mm)	
						間口 A	奥行 B	間口 X	奥行 Y	間口 x	奥行 y
E-17-CO	17	1150	120/150/180	CO	1000	1800	1500	2400 (2600)	2400	3300	4750
E-17-2S				2S				2400 (2600)	2450	3300	4850
E-26-CO	26	1700	120/150/180	CO	1100	1800	2000	2400 (2600)	3000	3600	5350
E-26-2S				2S				2400 (2600)	3050	3600	5450

ピット深さ・オーバーヘッド寸法

形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ピット深さ PD (mm)	オーバーヘッド OH (mm)	頂部すき間 TC (mm)	機械室有効高さ HM (mm)	機械室床に掛かる荷重 (kN)		ピット衝撃荷重 (kN)		最大昇降行程 (m)
								R1	R2	P1	P2	
E-17-CO/2S	17	1150	120	2150	5400	1850	2250	114.7	67.7	143.2	123.7	120
			150	2450	5600	2050	2250	114.7	67.7	143.2	123.7	120
			180	2750	5900	2350	2550	114.7	67.7	143.2	124.7	120
E-26-CO/2S	26	1700	120	2750	5400	1850	2250	146.6	109.0	203.7	173.8	120
			150	2750	5600	2050	2250	146.6	109.0	203.7	173.8	120
			180	2950	5900	2350	2550	157.6	116.8	222.2	192.4	120

注：1. 昇降路、機械室平面図の据付寸法は柔構造(S造)の場合を示します。

2. () 内寸法は速度180 (m/min) の場合を示します。

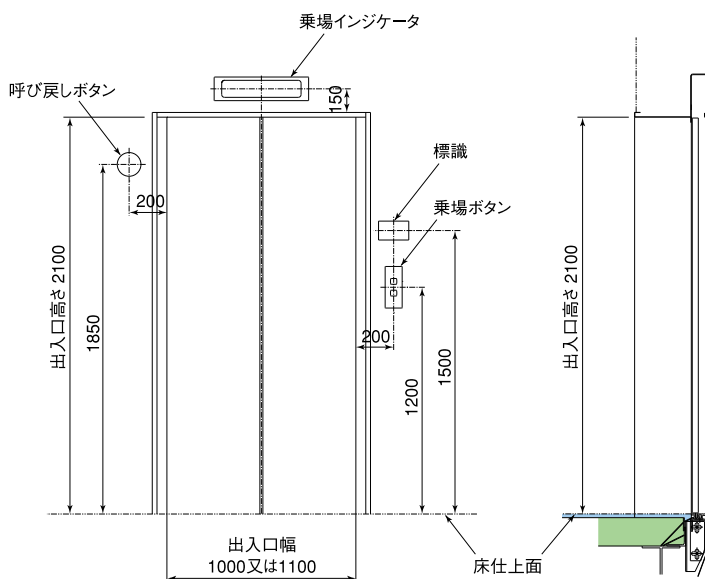
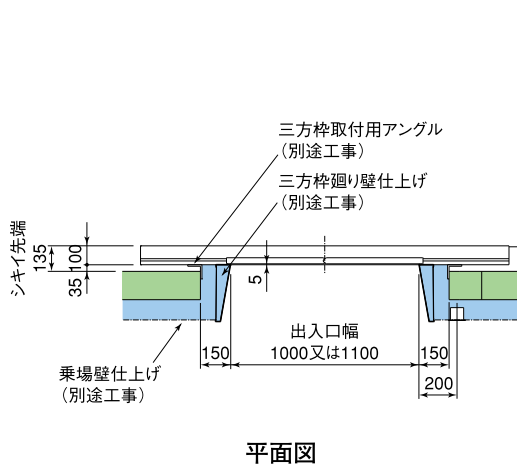
3. オーバーヘッド寸法は出入口高さ、かご室意匠が標準仕様の場合です。(出入口高さ2100mm、かご天井高さ2400mm)

4. 薄型巻上機・薄型制御盤の採用により、機械室サイズを小さくすることができます。詳細は当社へお問い合わせください。

5. 昇降路内レイアウトによっては、かご内騒音対策が必要となる場合があります。特に速度180m/min以上で単独昇降路の場合は昇降路サイズが大きくなる可能性があります。詳細は当社へお問合せください。

乗場詳細図

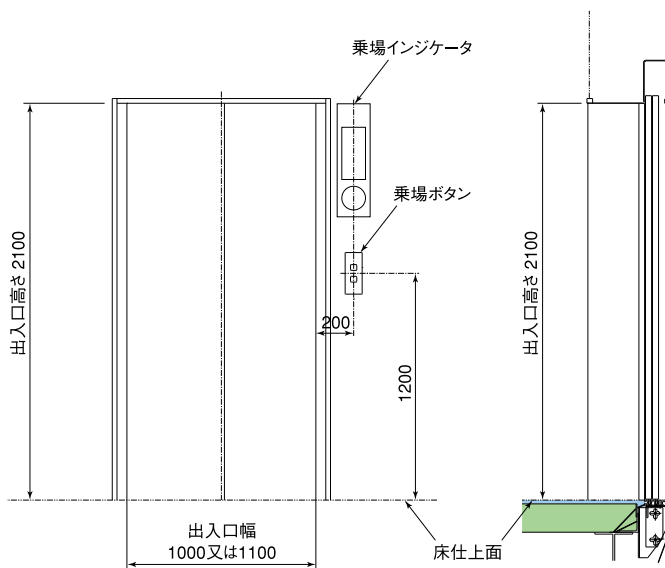
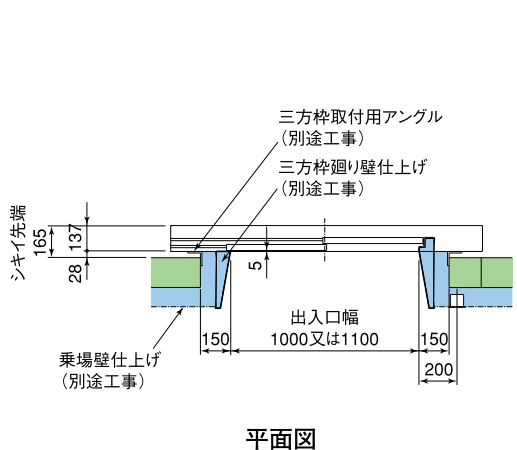
[2枚戸両引きの場合]



● 建築工事者施工範囲

- 建築壁
- 建築仕上

[2枚戸片引きの場合]

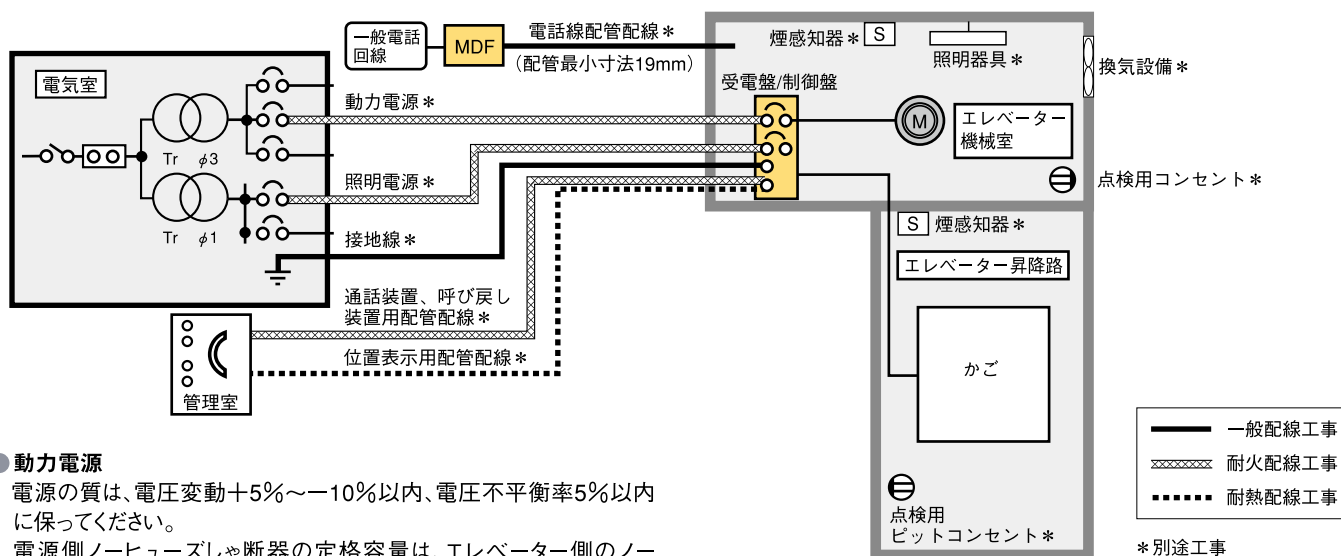


● 建築工事者施工範囲

- 建築壁
- 建築仕上

電源設備

電気設備関係



● 動力電源

電源の質は、電圧変動 $\pm 5\% \sim 10\%$ 以内、電圧不平衡率 5% 以内に保ってください。

電源側ノーヒューズしゃ断器の定格容量は、エレベーター側のノーヒューズしゃ断器との協調をご考慮ください。

● 照明電源

かご内の照明・インジケータの点灯に使用します。他箇所の停電に影響されないよう、できるだけ独立回路としてください。AC/GC100V 50/60Hz 1kVA/台(片側を接地してください。)

● 点検用コンセント

機械室・ピットで保守作業を行う際必要になります。容量 AC/GC単相 100V 10A/台

● インターホン

非常時にかご内と外部で通話するために必要な設備です。インターホンの親器は常時管理責任者の在室する管理室または乗降ロビーに取付けます。

● 電話線

遠隔監視サービス機能を発揮させるために必要です。

● 照明設備・換気設備は予備電源を有すること。

電源電圧

60~105m/min、電源電圧 200V (1回線/台)

積載量 (kg)	速度 (m/min)	電動機容量 (kW)	電源トランス容量 (kVA)	電源側 NFB 容量 (A)	機器発熱量 (W)	動力電源線サイズ別最大引き込み長さ (FPTケーブル) (m)						接地線最小サイズ (mm ²)
						mm ² 8	14	22	38	60	100	
1150	60	7	8	60	1800	45	77	115	185	264	378	5.5
	90	11	11	100	2700	-	-	79	126	180	258	5.5
	105	13	13	100	3150	-	-	68	108	155	221	5.5
1350	60	7.8	9	60	2100	38	65	98	157	225	322	5.5
	90	12	12	100	3150	-	-	67	107	153	219	5.5
	105	14	14	125	3700	-	-	-	92	132	189	8
1600	60	10	11	75	2500	-	53	80	127	183	261	5.5
	90	15	15	125	3750	-	-	-	86	123	175	8
	105	18	18	150	4350	-	-	-	74	106	151	8
1700	60	11	11	100	2650	-	-	75	120	172	246	5.5
	90	16	16	125	3950	-	-	-	81	116	166	8
	105	19	18	150	4650	-	-	-	69	100	142	8

120~180m/min、電源電圧 400V (1回線/台)

積載量 (kg)	速度 (m/min)	電動機容量 (kW)	電源トランス容量 (kVA)	電源側 NFB 容量 (A)	機器発熱量 (W)	動力電源線サイズ別最大引き込み長さ (FPTケーブル) (m)					接地線最小サイズ (mm ²)
						mm ² 22	38	60	100	150	
1150	120	15	21	100	3570	209	334	479	684	874	5.5
	150	18	23	100	4460	170	271	388	554	708	5.5
	180	22	25	100	5350	142	228	326	466	595	5.5
1350	120	20	23	100	4190	186	297	426	608	777	5.5
	150	25	25	100	5240	152	243	348	498	636	5.5
	180	30	28	125	6280	-	204	292	417	533	8
1600	120	20	26	100	4970	163	261	374	534	682	5.5
	150	25	29	125	6210	-	214	307	438	559	8
	180	30	32	125	7450	-	180	258	368	470	8
1700	120	23	31	125	5600	-	218	313	447	571	8
	150	28	34	125	7000	-	177	253	362	462	8
	180	34	40	150	8400	-	150	214	306	391	8

工事区分

項目		建築 工事	電気 工事	設備 工事	昇降機 工事	その他	備考
昇 降 路 関 係	昇降機設備機器の製作ならびに据付工事（昇降機諸官庁の手続きを含む）				○		
	昇降路の建築工事ならびにその仕上工事（耐震基準に基づく構造）	○					
	各階出入口三方枠、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事	○					
	中間ビーム設置工事（鉄筋コンクリート構造部）				○		
	乗場敷居受けコンクリート持出し工事	○					
	鉄骨構造階における各階の中間ビーム設置工事、レールブラケット取付のためのファスナー設置工事	○					
	鉄骨構造における乗場敷居受けビーム設置工事	○					
	鉄骨構造の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事	○					
	鉄骨構造の昇降路における各階の出入口三方枠、戸閉機器、押ボタン、インジケータ等の取付用下地鋼材の設置工事	○					
	乗場関係機器取付後の出入口廻りの壁ならびに床の仕上げ工事	○					
	特に階高の高い場合、レールブラケット取付のための立柱等の施工	○					
	ピット点検口またはタラップの設置工事	○					
	ピット内防水工事（必要の場合は排水設備を含む）	○					
	ピット内保護柵工事（必要の場合）	○					
	ピット下を使用する場合の建築躯体処理工事（二重スラブ・オモリ側厚壁）	○					
	通過階のあるときは非常口設備工事（特定防火戸、自動閉式、間口750mm×高さ1200mm）	○					
	屋上等直接外気と接する乗場における耐水よけ設備	○					
	フロントパネルの場合のインジケータ、押ボタン等の取付用下地鋼材の施工	○					
	二方向出入口の場合の落下防止用ネット	○					
フェッシャープレートの取付用下地鋼材	○						
機 械 室 関 係	機械室の築造工事および同出入口設備工事	○					
	機械室の穴あけ工事（ロープ等）	○					
	マシンビーム受梁およびスペーサー（リブ付）の設置工事	○					
	機械室天井のトロリービームの設置工事	○					
	採光窓の設置工事	○					
	機械室床配管後のシンダーコンクリート打設工事	○					
	シンダーコンクリート打設後の仕上工事（タイルまたは防塵塗料塗付工事）	○					
	機械室搬入口の仮設ならび復旧工事	○					
	機械室に至る階段および機械室内の階段設備工事	○					
	機械室換気ガラリ設置工事（延焼のおそれのある時はスチール製でFD付）	○					
	第二機械室用点検口およびタラップ設置工事	○					
電 気 関 係	動力用電源 機械室受電盤までの配管配線工事および制御盤一次端子への接続工事 （複数台1回線の場合の分岐工事を含む）耐火配線		○				
	照明用電源 機械室制御盤までの配管配線工事および制御盤一次端子への接続工事 （複数台1回線の場合の分岐工事を含む）耐火配線		○				
	エレベーター遠隔監視用配管・配線工事（最上階昇降路から最寄りの電話中継箱まで）		○				
	接地線の機械室受電盤までの引込工事		○				
	機械室の照明設備（停電灯用）および点検用コンセント設備 照明設備は予備電源を有すること		○				
	ピット点検用 コンセント設備（防水機器または防滴型・最下階 床面より上方に配置）		○				
	機械室内の煙感知器設備工事		○				
	非常放送用配管配線の機械室制御盤までの引込工事		○				
	監視盤の製作ならびに据付工事				○		
	監視盤用電源の監視盤迄の引込工事 予備電源を有すること		○				
	停電時の非常電源切替装置ならびに同識別リレー接点の供給（配管配線）工事		○				
昇降路外の監視盤用の配管配線工事 呼び戻しは耐火配線、位置表示用は耐熱配線		○					
昇降路外のインターホン用の配管配線工事 耐火配線		○					
その他	機械室の空調（換気扇）設備工事（サーモ付、延焼のおそれのある時はFD付） 予備電源を有すること			○			
工 事 関 係	据付工事用現場詰所および材料置場	○					
	工事中の乗場廻りの囲い工事	○					
	据付工事用および試運転調整用電力、水、セメント、小石等の支給	○					
	重量物の搬入に支障のない通路の確保	○					
	エレベーターを工事使用する場合、コールバック、オーバーホール定期保守料金の負担	○					
	足場の材料支給および組立、解体工事	○					
	工事使用する場合の養生工事 1.乗場の戸およびカゴの戸：上質の白紙 2.三方枠：パッキンを当てたベニア等 3.かご室の天井：金網張り 4.かご室の壁：パッキンを当てたベニア等 5.かご室の床：防水性の物を敷きベニア等		○				
	残材の整理、片付け	○					
	部品搬入時のロングリフト、タワークレーンの提供	○					

注： は柔構造(S造)の場合のみです。

「安心」で「快適」なビル環境を、
24時間・365日みつめ続けるサポート体制。



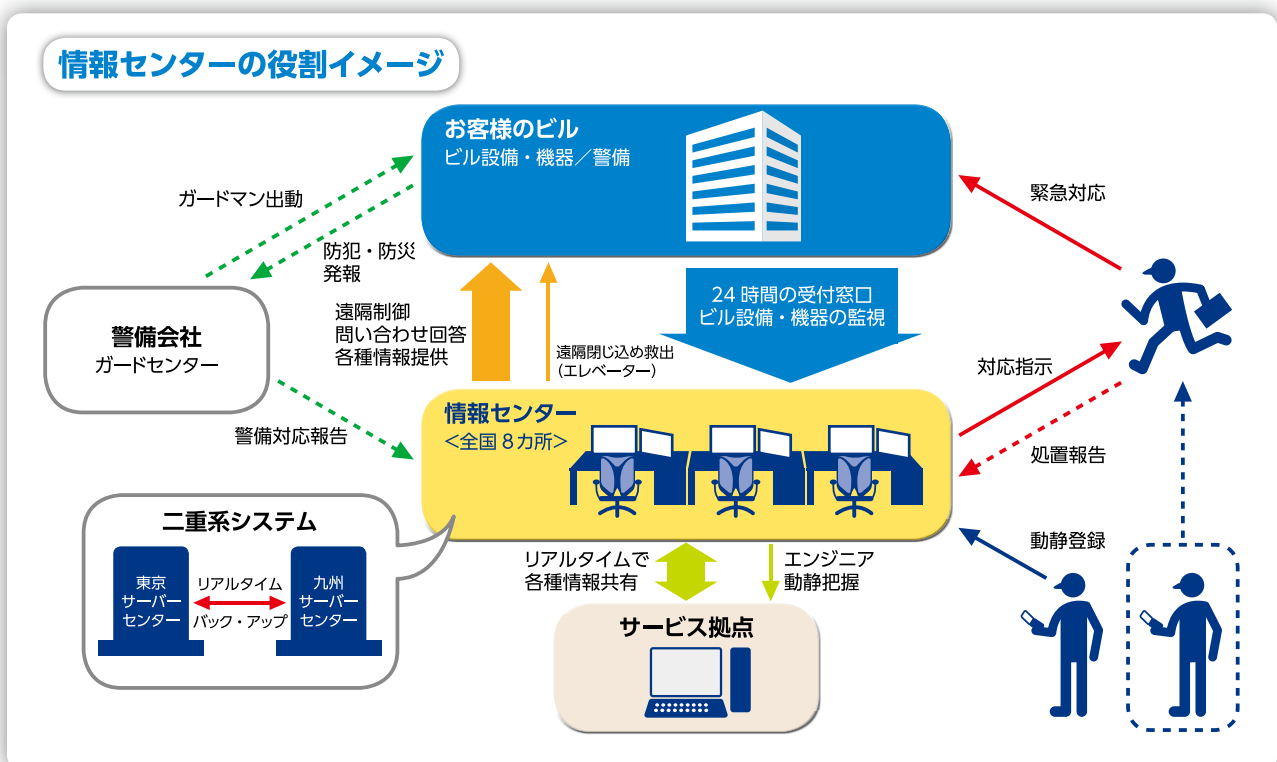
三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、
全国約280カ所のサービス拠点、
8カ所の情報センターによる
ネットワークで常に受信体制を整え、
お客さまの信頼にお応えしています。



受信体制

全国8カ所の情報センターは、24時間・365日の受信体制を確立しています。

情報センターはビル設備に故障・トラブルが発生した場合、故障信号やお客さまからの緊急コールやお問い合わせに対応する“安心の窓口”として24時間・365日の受信体制を確立しています。



三菱電機株式会社

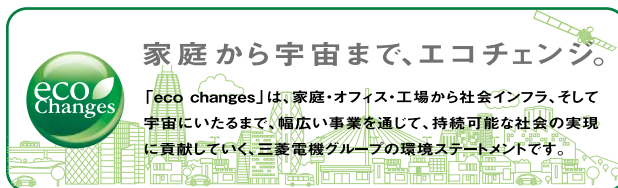
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号（東京ビル）

お問合せは下記へどうぞ

本社ビル事業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）	(03)3218-4544・4545
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4丁目1（北海道ビル）	(011)212-3726
道東営業所	〒080-0010	帯広市大通南11丁目18-1（TRAD十勝ビル）	(0155)28-7111
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20（花京院スクエア）	(022)216-4585
福島支店	〒963-8002	郡山市駅前1-15-6（明治安田生命郡山ビル3F）	(024)923-5624
北東北営業所	〒020-0034	盛岡市盛岡駅前通15-20（東日本不動産盛岡駅前ビル6F）	(019)606-3275
秋田事務所	〒010-0924	秋田市旭北寺町1-2	(018)896-4220
青森事務所	〒030-0822	青森市中央1-23-4（ダイヤビル3F）	(017)735-7811
関越支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2（明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクセス・タワー34F）	(048)600-5785
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通1-4-1（マルタケビル4F）	(025)241-7221
群馬営業所	〒370-0841	高崎市栄町4-11（原地所第二ビル）	(027)322-0312
長野支店	〒380-0921	長野市栗田源田窪1000番地1（長栄長野東口ビル5F）	(026)223-1209
東関東営業所	〒260-0015	千葉市中央区富士見2-3-1（塚本大千葉ビル）	(043)201-2955
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1（横浜ランドマークタワー18F）	(045)224-2611
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1（金沢パークビル）	(076)233-5506
中部支社	〒450-6045	名古屋市中村区名駅1-1-4（JRセントラルタワーズ）	(052)565-3160
静岡支店	〒422-8067	静岡市駿河区南町14-25（エスパティオ6F）	(054)202-5632
三重支店	〒514-0009	津市羽所町388（津三交ビルディング7F）	(059)229-1567
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4番20号（グランフロント大阪タワーA）	(06)6486-4165
京滋支店	〒600-8216	京都市下京区西洞院通塩小路上ル東塩小路町608-9（日本生命京都三哲ビル）	(075)361-7840
兵庫支店	〒650-0035	神戸市中央区浪花町59（神戸朝日ビルディング）	(078)392-8561
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32（ニッセイ広島ビル）	(082)248-5278
岡山支店	〒700-0901	岡山市北区本町6-36（第一セントラルビル）	(086)225-5171
山口支店	〒753-0872	山口市小郡上郷字流通センター西901-2	(083)901-0300
山陰営業所	〒690-0038	松江市平成町182-35	(0852)24-9335
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8（日本生命高松駅前ビル）	(087)825-0006
愛媛支店	〒790-0001	松山市一番町3-3-6（センターポイントビル）	(089)931-7542
高知支店	〒780-0870	高知市本町4-2-40（ニッセイ高知ビル4F）	(088)824-9477
徳島営業所	〒770-0841	徳島市八百屋町2-11（ニッセイ徳島ビル）	(088)654-5011
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1（天神ビル）	(092)721-2163
沖縄支店	〒900-0015	那覇市久茂地3-21-1（国場ビル）	(098)861-2450

「エレベーター・エスカレーター」のウェブサイト

www.MitsubishiElectric.co.jp/elevator



⚠️ 安全に関するご注意

- 法令を遵守してください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この印刷物は、2020年12月の発行です。
- この印刷物に掲載した内容は、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。